

読んでみよう 解いてみよう  
さん太のワークシート

倉敷市は、観光客に向けて、新たなサービスの社会実験を始めました。記事を読み、質問に答えましょう。

倉敷観光 自転車で

倉敷市が試行するシェアサイクルのステーション

① 三井アウトレットパーク倉敷  
② 天満屋倉敷店前  
③ 中国銀行倉敷駅前支店前  
④ 市荷さばき場  
⑤ 倉敷中央駐車場前  
⑥ 新溪園前  
⑦ 倉敷アイビースクエア  
⑧ 市芸文館  
⑨ 市役所

倉敷市は17日、市中心部で観光客向けに自転車を出し出す「シェアサイクル」の社会実験を始めた。新型コロナウイルス収束後の観光需要の回復をにらみ、利便性の向上や誘客効果を検証する。期間は来年1月中旬までの約4カ月間。

三井アウトレットパーク倉敷や天満屋倉敷店前、倉敷アイビースクエア、倉敷市役所などの9カ所に貸し出し・返却所（ステーション）を設置。電動自転車55台を用意した。どのステーションでも貸し出し、返却ともに可能で、公共交通機関を使った来訪者やエリアを周遊する観光客の利用を主に見込む。

委託事業者の専用アプリ「ハローサイクリング」をスマートフォンなどにダウンロードして会員登録を行い、利用を予約する仕組み。料金は15分70円で、最大12時間で千円。支払いはクレジットカードか、携帯電話の利用料金とまとめて支払うキャリア決済で行う。

シェアサイクル市社会実験開始

コロナ後の誘客探る



倉敷市が市中心部で貸し出しを始めたシェアサイクル。観光客の利用を見込む倉敷市役所

倉敷を訪れる観光客は新型コロナウイルスの影響で、本年度に入り外国人客を中心に激減。市は収束後に、密を避けるため地方への観光が注目されるとみて、誘客に向けた有効な施策を探る。

市まちづくり推進課は「少人数での移動に適した自転車は、アフターコロナを見据えた観光様式の有力なツールになる可能性がある。地域を巡りやすい環境を整え、滞在してもらえる時間を増やしたい」としている。（太田知二）

18日付、山陽新聞朝刊社会面

ぼくも利用してみたいな

Q1 ★★☆☆

倉敷市が社会実験を始めたのは、どんなサービスですか。第1段落、見出し、写真を参考に答えましょう。

Q2 ★★☆☆

倉敷市はなぜ、この取り組みを始めたのでしょうか。第5、6段落を読み考えましょう。

Q3 ★★★★★

新型コロナウイルスで多くの町が影響を受けています。観光客を呼び込むには、どうすればよいでしょうか。アイデアを考えてみましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。